

雪解けによる河川の増水(融雪出水)にご注意を!

暖かい気温が続くこれからの時期は、気温の上昇に伴い雪解けが進み川の水位が上がります。ひとたび雨が降ると、一気に水かさが増し洪水になる危険があります。山間部にはまだ積雪が残っており、気温が上昇した際に少ない雨でも河川の水位が増水する恐れがあります。河川に近づく際は、事前に気象情報を確認しましょう。水位が上がっている時は大変危険ですので、河川には近づかないようにしましょう。

国土交通省が運営する「川の防災情報」では、河川の水位の状況などを、インターネットを通じてリアルタイムで配信し、いつでも、どこでも、避難に必要な情報を入手頂けるように提供しています。掲載情報は、**レーダー雨量・気象警報・注意報・水位情報・浸水の危険が高まっている河川・洪水予報**などです。

新庄河川事務所のホームページからもアクセスできますので、ご利用ください。 [アクセスはこちらから→](https://river.go.jp)



<https://river.go.jp>

鮭川村「鮭の里親事業」～鮭の稚魚を放流しました～

2月22日(木)鮭川小学校・東京都荒川区第二日暮里小学校・尾久宮前小学校の3校で育てた鮭の稚魚を自分たちの手で鮭川に放流する「鮭の里親事業」が行われました。3校合同での放流は5年ぶりだそうです。鮭の稚魚は5cmほどまで成長し、バケツの中を元気よく泳いでいました。当日は3万匹の稚魚を鮭川に放流したそうです。この放流事業は、鮭川の文化を知ってもらい、鮭を通じて子供達の交流を深めようと鮭川村が取り組んでいるものです。鮭の稚魚はオホーツク海やベーリング海などを回遊し4年かけて成長し故郷の鮭川へと戻ってきます。放流を行なった児童たちは大切に育ててきた稚魚が元気に泳いでいく姿を見守っていました。

鮭川と泉田川の合流点



みんなで防ごう！油流出事故

最上川水系での水質事故の発生件数は国が管理する東北12水系の中で最も多く、近年ワースト1位が続いています。原因の多くは、冬季間における灯油の流出によるもので、暖房器具などを使用する時期に多発しています。灯油流出事故の約7割がホームタンクから小分け中にその場を離れる、バルブの閉め忘れなどの「うっかり」が原因です。ホームタンクからの小分け給油は180缶で1～2分と短時間なので、給油中はその場を離れない、給油途中に離れる時はバルブを閉める。これだけで灯油流出事故は7割以上も減らせます！水質事故は、突発的に発生し、下流へ拡散すると魚類のへい死や水道水等の取水停止など、環境や飲み水にまで影響する大きな被害につながる恐れがあります。給油中は、その場から離れないよう一人一人の心がけが大切です。

令和5年度「所内業務報告会」

令和6年2月6日(水)に新庄河川事務所において「令和5年度の所内業務報告会」が行われ、業務に関する工夫・研究・調査・今年度工事紹介などについて11件の報告がありました。どれも興味深い内容で、業務への熱意を感じました。鮭川出張所からは齋藤管理第一係長が「出張所における広報活動について」と題し報告しました！



齋藤管理第一係長より一言
今回、鮭川出張所で実施している
広報の取組について報告しました。
来年度から災害復旧工事も始まりますので、管内の工事状況など
様々な情報を発信していければと
思っております。



@shinjou mlit

国土交通省 新庄河川事務所X(旧Twitter)の公式アカウントです。防災情報、イベントや工事の情報、広報誌等を発信しています。ぜひ、ご覧下さい。

新庄河川事務所X(旧Twitter)はこちらからアクセスできます。

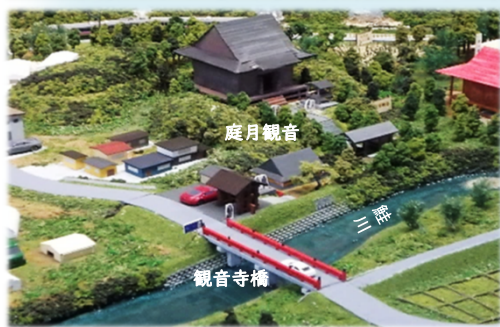


https://twitter.com/i/flow/login?redirect_after_login=%2Fshinjou_mlit

今月の風景

～ 鮭川出張所管内をめぐる～

時代は大きく変化しても、止まることなく流れ続ける川。その川に沿って街をめぐり、その街の風景などを紹介していきたいと思えます。第10回目は高校生が作成した「真室川町と鮭川村のジオラマ(ゆめりあ鉄道ギャラリー)」を紹介します。



新庄神室産業高校の生徒さんたちが最上8市町村の観光名所や風景を紹介するジオラマを製作するプロジェクトが2021年から進められてきました。今年度は第3弾として環境デザイン科・機械電気科の3年生10人で真室川町と鮭川村を制作し、令和6年2月に完成。生徒10人の知識と技術で作上げたジオラマはゆめりあ鉄道ギャラリーに展示されています。

お問い合わせ

国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所
〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4
TEL 0233-55-3020 FAX 0233-55-3083

HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>
広報紙担当: 齋藤・小野
広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。